

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

花き栽培におけるアザミウマ類伝搬のウイルス病対策（技術情報第4号）  
について（送付）  
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

### 記

県内のシクラメンで、キク茎えそウイルス（CSNV）による病害の発生が確認された。  
本ウイルスは、ミカンキイロアザミウマによって媒介され、キク、トルコギキョウ、アスター、ガーベラ等の花き類に広く感染する。ほ場でのアザミウマ類の発生状況に注意し、物理的防除および薬剤による防除を徹底する。

#### 1 発生状況

- (1) 令和8年6月、県内のシクラメン栽培において、えそ斑紋病（インパチェンスえそ斑ウイルス：INSV）によく似た輪紋症状が見られる株が発見された（写真1、2）。当所においてRT-PCR法による遺伝子診断を実施したところ、キク茎えそウイルス（CSNV）が単独で検出された。
- (2) 県内でのCSNVによる病害は、平成20年にキク、平成27年にトマトで確認され、それぞれ特殊報を発表している（写真3、4）。シクラメンにおける国内の発生は、平成30年以降に確認されており、県内では令和6年以来2件目である。なお、現在までに県内でINSVによるシクラメンえそ斑紋病の発生は確認されていない。

#### 2 病徴

- (1) 葉に輪紋、斑点、えそ、黄化症状を示す（写真1、2）。
- (2) 本ウイルスによる症状は、INSVによるシクラメンえそ斑紋病の症状に酷似するため、病徴による判別は困難である。

#### 3 発生生態

- (1) 本ウイルスは、ミカンキイロアザミウマにより媒介される。幼虫が感染した植物を吸汁することでウイルスを獲得し、ウイルスを保毒した成虫は、生涯にわたり伝搬能力を持つが、経卵伝染はしない。種子伝染、土壌伝染、管理作業等による汁液伝染はしないとされている。栄養繁殖する品目では、感染した親株が伝染源となることがある。
- (2) 本ウイルスは宿主範囲が広く、トマト、ピーマン、キク、トルコギキョウ、アスター、ガーベラなどで発生した報告がある（表1）。

#### 3 防除対策

アザミウマ類は、本ウイルスだけでなく、インパチェンスえそ斑ウイルス（INSV）、

トマト黄化えそウイルス (TSWV)、アイリスイエロースポットウイルス (IYSV) などのトスポウイルスを媒介することが知られている (表1)。

そのため、以下のとおりアザミウマ類に対する防除対策を徹底する。

- (1) 施設の開口部 (サイド、谷部) には、目合い 0.8 mm 以下の防虫ネットを設置する。赤色系ネットを使用すると効果が高い。すでに設置している施設については、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間がないか点検し、必要に応じて補修する。
- (2) 光反射シートを施設外周縁や畝面に使用し、侵入および寄生を抑制する。
- (3) 施設内に青色または黄色粘着トラップを設置し、アザミウマ類の早期発見、初期防除を徹底する。既にアザミウマ類の発生が見られる場合は、継続した防除を行う。なお、薬剤防除を行う場合、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統 (IRACコード) の異なる薬剤のローテーション散布を行う。
- (4) 罹病株は重要な伝染源となる。見つけ次第、施設外に持ち出して適切に処分する。
- (5) 施設内外の雑草は、アザミウマ類の生息・増殖場所となるので、栽培期間中は定期的に除草する。
- (6) 栽培終了後は、密閉処理を行ってアザミウマ類を死滅させることで、周囲への拡散を防止する。



写真1 [シクラメン]葉の輪紋症状



写真2 [シクラメン]葉の黄化症状



写真3 [キク]葉のえそ斑  
(左: CSNV 罹病株、右: 健全株)



写真4 [キク]茎部のえそ斑

表1 花き類にアザミウマ類が媒介する主なウイルス

ウイルス名 (和名)	略称	主な宿主植物 (野菜類)	媒介するアザミウマ種
<i>Chrysanthemum stem necrosis virus</i> (キク茎えそウイルス)	CSNV	キク、トルコギキョウ、アスター、ガーベラ、(トマト、ピーマン) 等	ミカンキイロアザミウマ
<i>Impatiens necrotic spot virus</i> (インパチエンスえそ斑紋ウイルス)	INSV	トルコギキョウ、シクラメン、スターチス、サルビア、デルフィニウム、(トマト、ピーマン、たまねぎ) 等	ミカンキイロアザミウマ ヒラズハナアザミウマ
<i>Tomato spotted wilt virus</i> (トマト黄化えそウイルス)	TSWV	キク、トルコギキョウ、シクラメン、サルビア、ペゴニア、アスター、パーベナ、ガーベラ、(トマト、ナス、キュウリ) 等	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ヒラズハナアザミウマ チャノキイロアザミウマ ネギアザミウマ等
<i>Iris yellow spot virus</i> (アイリス輪紋ウイルス)	IYSV	トルコギキョウ、アルストロメリア、(タマネギ、ネギ、ニラ) 等	ネギアザミウマ

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター生産環境研究所内)

担当：永野

TEL 096-248-6490